

# Weekly report

MINKABU  
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド  
東京都千代田区九段北1-8-10

## 今週の注目材料 = 前回は予想より強め、米FOMCにらみ今回は

2023年3月13日

前回1月の米消費者物価指数(CPI)は前年比+6.4%と、12月の+6.5%からは小幅な鈍化も、市場予想の+6.2%を上回る伸びとなりました。変動の大きい食品とエネルギーを除いたコア指数も前年比+5.6%と、12月の+5.7%からは小幅な鈍化も、市場予想の+5.5%を上回りました。前月比も総合、コア共に市場予想を上回る伸びとなっており、米国の積極的な利上げ期待につながりました。

内訳を見ますと、11月、12月と前月比でマイナス圏、12月に至っては前年比でもマイナス圏となっていたガソリン価格が前月比・前年比ともにプラス圏を回復。住居費は前年比+7.9%と12月の+7.5%から伸びが強まっています。一方、サプライチェーン問題の一服を受けて11月、12月の前年比マイナス圏となっていた中古車は-11.6%とマイナス幅が拡大していました。食料品は前年比+10.1%と高水準ですが、伸び自体は5か月連続で鈍化しています。医療サービスも5か月連続で伸びが鈍化、前年比は+4.1%から+3.0%と鈍化率で見るとかなりの水準になっています。

これまで物価鈍化の要因となってきたガソリンをはじめとするエネルギー価格の低下が落ち着き、その他財価格の伸び鈍化傾向も見られたこと。さらには12月と同じ前年比+14.6%と高水準となった輸送サービスなど、人件費が費用に影響を与えやすい項目での物価の高止まり傾向、物価の流れに対して遅れて変化しがちな住居費の力強い伸び継続などが、市場予想を超える伸びにつながったと見られます。

米CPIの約2週間後に発表される米国のインフラターゲットの対象指標、個人消費支出(PCE)デフレータは、CPI以上に力強い結果となりました。前年比は+5.4%、コア前年比は+4.7%と、市場予想及び上方修正された上での前回値を共に上回る伸びとなっています。PCEデフレータは、CPIに比べて医療サービスが占める割合が高く、CPIでは35%近くを占める住居費が18%ぐらいしかありませんから、CPIに比べると物価鈍化の一服傾向は目立たないのではとの事前予想に反しての反発でした。

このような状況を受けて今回2月のCPIですが、前年比+6.0%、コア前年比+5.5%が見込まれています。ガソリン小売価格(全米全種平均・米エネルギー情報局調査)は1月の1ガロン当たり3.445ドルから3.501ドルに上昇しています。もっとも上昇率は+1.6%と12月から1月にかけての+3.6%から鈍化しています。また2022年は1月から2月にかけてガソリン価格が大きく上昇したため、前年比で見ると1月が+0.9%となっているのに対して、2月は-3.0%と低下しています。このガソリン小売価格がそのままCPIに反映されるわけではありませんが、同様の傾向が見られるとすると、CPI全体の前年比上昇が抑えられそうです。コアに関しては住居費の上昇傾向がまだ続くと思われること、堅調な労働市場動向を受けて、人件費に関する費用が大きい輸送サービスなどの項目が高め推移を続けると見込まれることから、コア指数の鈍化は抑えられるという見方です。

3月のFOMCで0.5%利上げを実施するかどうか。市場でも見通しが分かれる中だけに、米物価統計への注目度がかなり高くなっています。前回同様に市場予想を超える伸びを示した場合、ドル高につながりそうです。予想前後の伸びになると、少し微妙な反応となりそうです。

さらに15日には2月の米小売売上高と生産者物価指数(PPI)が発表されます。1月の小

売上高は前月比+3.0%と12月の-1.1%から一気に改善。市場予想の+2.0%も上回る好結果となりました。1月の米CPIを受けて強まっていた米国の利上げ期待がもう一段強まる形でドル高となりました。1月の生産者物価指数は消費者物価指数同様に12月の水準からは伸びが鈍化も、市場予想を上回る伸びとなりました。予想からの上方乖離が大きかった分、こちらもドル買い要因となりました。

米小売売上高の予想は前月比+0.2%、自動車を除く前月比の予想は-0.1%と冴えない数字が見込まれています。米PPIの予想は前年比+5.4%、食品・エネルギーを除くコア指数の前年比は+5.2%と共に1月からの伸び鈍化が見込まれています。小売売上高は月毎のブレがそれなりにあるため、深刻というような数字ではありませんが、少し失望感のある水準。PPIもCPI同様にエネルギー価格の前年比ベースでの低下が影響していると考えられます。

先月はこのあたりの一連の指標が軒並み強く出てドル高に勢いがつきました。今回はやや冴えない水準が見込まれており、市場予想通りだと、ドル買いに少し慎重姿勢が見られる可能性があります。

#### 山岡和雅 | MINKABU PRESS編集部

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後GCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

---

#### <免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

#### <著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。